

(3) 学校から離れてしまった若者に対する支援 ～子ども・若者支援地域協議会と連携した群馬県の実践～

自らのキャリア形成や、働くことに対する不安解消のために、家族や友人、職場の同僚・上司などの身近な存在にだけでなく、専門的な助言を求めて、学校の先生、就職担当者、キャリアカウンセラーなどに相談する者は少なくない。しかし、高校の中途退学などにより、学校から離れてしまうと、こうした専門的な助言を受けられる相談相手は失われてしまう。ここでは、学校から離れてしまった者を対象とする支援に多機関と連携して取り組む群馬県の実践を紹介する。

高校中退者の中には、高卒資格の取得を目指す者、就職を希望する者、大学進学を希望する者、あるいは、そもそも外出も難しいひきこもり状態にある者など、様々な状況の者がいる。群馬県では、それぞれの者が置かれた状況や希望内容に応じて、社会的自立に向けた支援を切れ目なく行うことができるよう、多機関連携の体制づくりを目指した。

具体的には、文部科学省の委託事業である、「学びを通じたステップアップ支援促進事業」²を活用し、「子ども・若者育成支援地域協議会」³（以下、「協議会」という。）と連携して高校中退者に対する再学習支援を行う体制を敷いた。協議会には、子供・若者の様々な相談に対応することができるよう、教育、就労、医療、福祉など多分野の関係機関が構成員として参加していることから、対象となる若者が置かれている状況や希望内容などに応じて、きめ細かな支援を行うことができる。

県内高校の協力により、高校を中途退学する時に、協議会による支援の希望の有無が生徒に確認され、希望がある場合には、その生徒に関する情報が協議会の事務局へ送付される。

協議会の事務局は、本人の希望内容に応じて、就労希望者は地域若者サポートステーション等の就労支援機関へ、高校への編入学や高卒資格取得を目指す者は再学習支援機関へつないでいくこととなる。また、ひきこもり状態にある者については、まずは専門家による訪問支援等の相談支援を行い、状態に一定の改善がみられた段階で、本人の希望内容に応じて、再学習支援や就労支援へつないでいくこととなる。

群馬県では、高校中退者をいかにこの事業につなげるか、という点がポイントであると考えている。なるべく多くの方の目に留まるよう、紙、WEB、メルマガ、QRコードなど、様々な広報媒体を活用し、本人用、保護者用、学校の先生用など、それぞれの対象別にメッセージも使い分けながら、こうした取組を発信している。特に、本人に対しては、置かれた状況や希望内容が様々であることを踏まえ、どんな目的であっても「若者を応援している」というメッセージが伝わるよう意識している。



2 高校中退者等を対象に、高等学校卒業程度の学力を身に付けさせるための学習相談及び学習支援のモデルとなる地方公共団体の取組について、実践研究を行うとともに、その研究成果の全国展開を図るもの。
3 「子ども・若者育成支援推進法」第19条で地方公共団体に設置の努力義務が課されている協議会であり、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子供・若者に対し、地域の関係機関が連携して支援するためのネットワーク。協議会の全ての構成機関に罰則付きの秘密保持義務が課せられている。

群馬県子ども・若者支援協議会あて

支援に関する同意書

私たち（県子ども・若者支援協議会）は、「新たな一歩」を応援しています。

番号に〇印を付けて、必要事項を記入してください
(保護者が希望する場合も記入してください)

1 再学習・就労に関する「相談・支援」を希望します

2 支援情報の提供を希望します

※希望されない場合でも、少し時間をあけてから、支援に関する情報を送らせていただきたいと思いますので可能な限り返信・住所の記入をお願いします。

下記の個人情報について、私へのサポート目的のために利用することに同意します。

氏名(本人)	生年月日	住所
	年 月 日	〒

協議会からの連絡方法の希望（自宅・携帯電話等）

自宅 電話番号（ ）

本人 携帯電話（ ）

保護者 携帯電話（ ）

同意・署名欄（本人及び保護者の自署）

本人氏名 _____

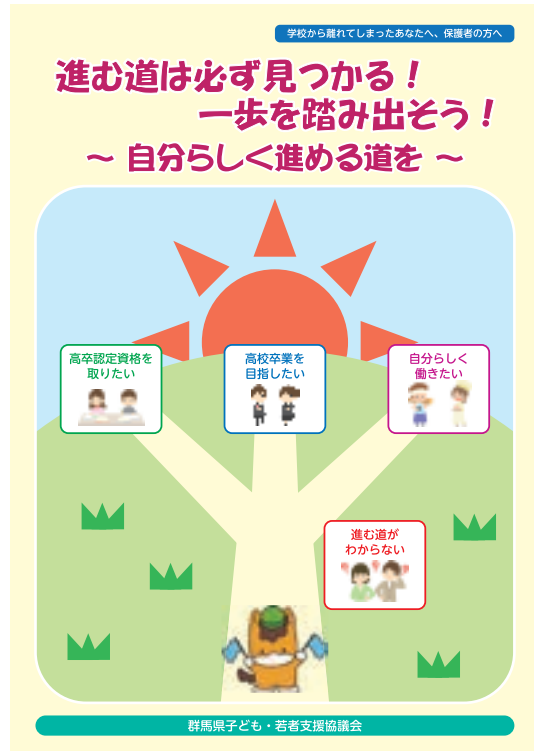
平成 年 月 日 _____

保護者氏名 _____

※署名は自署でお願いたします。

<支援に関する同意書の送付先>
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1
群馬県子ども未来部子育て・青少年課内 子ども・若者支援協議会

(支援に関する同意書)



(支援に関する説明資料)

また、平成30（2018）年度からは、市町村教育委員会と連携し、中学校を卒業する際に進学も就職もせず進路が未決定の者を、新たに支援対象としていく。

学校を離れたことにより、若者が自身の将来の展望を描けなくなるようではいけない。群馬県のような取組は、既にある地域ネットワークを活用した、伴走型の支援により、高校中退者等のキャリア形成を支えていこうとするものであるといえる。